

議題1 大正区将来ビジョン2029（素案）について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
1	防災	<p>今書類番号6の1-1の警察は各家庭の情報を持っているというのは、これ、どこからその情報を入手しているのか。区役所との連携ができないのはなぜできないか。もちろん個人情報のこともありますけど、警察は警察で何らかの形でどこからか名簿を入手するというその仕組みがよく分からないんですが、どなたか説明をお願いします。</p> <p>結局は名簿は必要だと思うんですね。名簿があって、どこにどういった方々がおられるか、要介護の方がおられたりとかそういったことの把握を区役所はするべきかなと思っています。また、民生委員さんなんかと情報を交換しながら、災害があったりとか、例えば火事があったときに、あの近くに要介護の方で逃げ遅れるかもしれないからということで避難誘導とか、そういったことが地域でできるような体制というのもあるのかなと思ったので質問いたしました。</p>	藤田委員	<p>【楠本課長】 警察との名簿連携についてなんですけれども、警察のほうでどのような名簿を持っているかなどといった情報は、行政側に情報提供がありませんので、その辺りも分かりませんという御回答になります。申し訳ございません。</p>	<p>書類番号6の1-1で言及のありました「警察の名簿」につきましては、警察官が付近での犯罪発生状況や防犯対策等の情報提供等のため家庭や会社を訪問し実施する「巡回連絡」の際に、事件・事故、災害時での活用を目的に世帯状況や緊急連絡先を把握し、紙媒体で編冊のうえ保管する「巡回連絡カード」であると解します。</p> <p>警察との名簿連携につきましては、個人情報保護の観点から難しい部分がありますが、災害などの緊急時には警察や消防などの関係機関と連携し、速やかな支援と対応ができる体制の強化に努めてまいります。</p> <p>区役所としては、要介護の方など見守りが必要と考えられる方を抽出し地域にお渡ししている「要援護者名簿」をもとに、発災時、真に避難支援が必要な方を対象に「日頃の見守り」から「いざという時の避難支援」につなげるための「個別避難計画」の作成を地域と協働しながら進めています。</p>		地域協働課 (防災防犯) 保健福祉課 (福祉)
2	人権	<p>資料番号6の土井委員の質問の中で、人権尊重のまちづくりというのがあったんですけども。実際、今、小学校、中学校にかかわらずいろんな国のこともたちが通っていると思うんです。今現在、僕のところに相談されているんですけども、やっぱり知らずに人権差別用語を言ってしまうということも非常に多く、学校側もそういう対応もしているんでしょうけれども、どうしても後手後手に回ってしまっている状況になっているところなんです。</p> <p>やっぱり増えていると思うんです、外国籍の方々が。そこで必要になってくるのは、いろんな国の文化というのを尊重し合う、分かる知識として取り入れるという授業が1枠、2枠必要なんじゃないかなって思うところではあります。</p> <p>ここで言っても仕方ないのかもしれないんですけども、区役所のほうからも一つ学校側のほうに何かできる手が一つでもあるのであれば、こどもたちが傷つかないように、傷つけないようにしていただければと思います。</p>	山崎委員	<p>【前田課長】 小学校、中学校にもお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>学校では、外国の文化や習慣を学ぶ授業やイベントを開催するなど様々な取組が行われています。区役所としても、学校における活動の好事例について、各学校への情報提供や広く周知を行ってまいります。</p>		地域協働課 (地域協働) 保健福祉課 (こども・教育)
3	大正区版ネウボラ	<p>私の質問の中でネウボラの話があったと思うんですけども。私の中でネウボラは個々につながっていくというイメージがあったんですけども、大正区版ネウボラというのは、全員とつながるわけではなく、より手だてが必要そうな親子さんを早期発見して、その手だてが必要そうな親子さんを見逃さずつながり続けていくというイメージでよろしいでしょうか。</p>	土井委員	<p>【前田課長】 大正区版ネウボラの趣旨でございますが、個々というよりも切れ目のない支援を実施していくという側面がございます。</p> <p>切れ目のない支援のところでは、大正区としましては、3歳児の健診から就学前の健診のあたりについては、現行制度では4・5歳児のこどもの状況が他の年齢と比較し把握しにくい部分がございますので、大正区の独自の取組としまして4・5歳児に着目して、しっかりとこどもたちの状況を把握するために就学前サポートネット事業、こういった事業を実施することで妊娠期から中学生まで切れ目のない支援をしていくというのが「大正区版ネウボラ」で実施しているものでございます。</p> <p>【村田区長】 実は大正区ってこどもの数が毎年お生まれになる数が300人くらいなんです。300人は全員把握してまして。母子手帳をもらうときから、それから健診、6か月、1歳半、3歳、それから小学校に入るとき就学児健診がございますので、それも全部把握しております。それから、小学校に入ったら小学校のほうで全て把握しています。</p> <p>ただ、今、前田が申し上げたとおり、4・5歳児についてはその把握がなかったんで、そこについても全て把握するようにしています。そこで課題があった方を抽出して、将来社会的自立ができるような取組とかフォロー、支援というのをしているのと、それが全体の流れでございます。</p>			保健福祉課 (こども・教育)

議題1 大正区将来ビジョン2029（素案）について

【当日出された意見等】

テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
4 大正区版 ネウボラ	4・5歳は何年か前までは途切れていたということなんですよ、逆に言えば、その何年かでもサポート事業で何か成果というか、ありましたでしょうか。	土井委員	【前田課長】 4・5歳児の状況を見ることによって分かったことは、保育所・幼稚園等を訪問し、こどもたちの健康状況や生活状況を把握している中で、発達課題が多く見られます。発達課題がみられるこどもたちについて適切な支援につなげていくことも可能となりました。 【北吉副区長】 この4・5歳児の切れ目ない支援をするためのこどもサポートネット事業ですけれども、大体区独自で予算を約1,000万弱確保して2人の職員をそれにあてているというものです。成果というか、事業の意義としては、3歳児までは3歳児健診までの段階で把握している情報をそのまま4・5歳児こどもサポートネットに情報を引き継ぐということと、5歳児の情報も6歳以降の情報の把握に引き継ぐという点で切れ目のない支援ができるというのが一番大きいと思っています。			保健福祉課 (こども・教育)
5 防災	自主防災組織という言葉が出てきたんですけども、大正区の自主防災組織ってどのくらいあるのでしょうか。	土井委員	【楠本課長】 自主防災組織というのは、各地域で組織しているもので、大正区は10地域ございますので、10あります。	自主防災組織とは、「自助」・「共助」の考え方にたって、地域の住民同士が自主的な防災活動を実施する組織のことで、自主防災組織は区内10地域において組織され、おおむね小学校区単位で活動する地域団体(地域活動協議会、地域振興町会、女性会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、PTA等)で構成され、自律的に活動いただいています。		地域協働課 (防災防犯)
6 防災	防災訓練を小学校とかで実施していただいている皆様が自主防災組織ということですか。	土井委員	【楠本課長】 防災訓練の際は防災リーダーさんが中心になってやったださっていると思います。 例えば三軒家東の地域でしたら、先日も小学校のほうで実施されたと思いますけれども、防災リーダーさんが中心になって活動をしていらっしゃるということになります。 【村田区長】 各地域の本部長、10地域に本部長が、災害対策本部長というのがいらっしゃいまして、小林地域においては鷺見会長が本部長になってございます。それから、その本部長の指示の下、防災リーダーというのが各10地域にございます。例えば三軒家西地域の防災リーダーの隊長は、その前に座ってある安井委員ということで。実は身近にいらっしゃいますので。あと、例えば丸尾委員などは、一緒に地域の防災で訓練のときに一緒に活躍していただいています。そういう組織がございます。			地域協働課 (防災防犯)
7 防災	自主防災組織の地域の方々、地域の団体とか企業とかを巻き込んで連携してフェーズフリーという形を整えていくということですか。	土井委員	【楠本課長】 自主防災組織、地域の方々、あと企業ですとか病院ですとか、日頃から、例えば訓練を一緒にするとか、あと避難所は小学校に設けることになるんですけども、福祉避難所はどうするのかとか、津波がきたときの津波避難ビルとか、災害が起きた後の医療はどうするのかとか、いろいろなフェーズ、地震が起きたとき、津波が来たとき、それから津波が引いて家屋が潰れてしまっって小学校に皆さんが避難してくる、というようないろんなパターンがあります。それぞれやはり地域だけ、行政だけ、では成り立たないという事態になります。そういったときに、地元の企業の方や、医療機関、各施設とか、そういったところと連携するということは急にはできませんので、あらかじめ協定をつくっておく、またはマニュアルをつくっておく、ということ準備しておくというのが大切なことだと思います。 そういうことでフェーズフリーという書き方をさせていただいています。自助・共助・公助というのは御存じだと思いますけれども、自助としては、あらかじめ日頃から家庭で避難物資をそろえておく、ローリングストックしていく、というのがあります。共助・公助の取組としても、日頃からそういった訓練や連携を密にしておくというのが大切なことですので、今回そのようなビジョンにしております。	ご意見を踏まえ、将来ビジョンの文言も分かりやすく表現になるよう修正いたしました。		地域協働課 (防災防犯)

議題1 大正区将来ビジョン2029（素案）について

【当日出された意見等】

	テーマ	意見内容	委員名	回答	対応	対応にかかるHPなど	担当課
8	防災	<p>【土井委員】 この前、北海道のほうで地震があったときに夜やったんですけど、津波避難ビルというのがここにあるというのは分かってたんですけど、この夜中に行き開いているのかどうかっていうのは分からないなと思って。そういうものもあるんならフェーズで起こり得るものなので、災害は。ちょっと避難するときに、ここやったら平日やったら開いてるとか、土日祝は閉まっているとか、そういう一般の企業さんとか、保育園とか、介護老人保健施設とかも入っていたと思うので、津波避難ビルに。そういう情報もシェアをしていただけたらありがたいと思います。</p> <p>【北方委員】 何か起きたときにこうしようっていうんじゃなくて、やっぱり何か起きる前にせなあかんというのは、前回のときもそういう話があったと思うんですね。高校なんかでどんどん大正区からなくなってきて高い建物もなくなってきた。そして、私たちは今度どこへ逃げていったらいいのかわからない。みんな不安というのはすごいお持ちになってるんですね。それで、今、土井委員が夜やったら開いてるのかという不安。本当に具体的に不安というのがいっぱい、年寄りがたくさんいる大正区っていう課題がある中で見えてない部分がたくさんあるなと思って、不安材料が多いなというのを感じました。</p>	土井委員 北方委員	<p>【北吉副区長】 津波避難の施設の避難可能時間ですけれども、大正区のホームページにも地域ごとの津波避難マップ掲載してまして、津波避難施設については、避難可能時間が24時間なのか、午前9時から午後5時かとか、施設ごとに書いてはいるんですけども、周知などの課題もあると思っておりまして、その辺りは今後とも検討したいと思います。</p>	対角線	対角線	地域協働課 (防災防犯)
9	広報	<p>社協できらめきパーティーというのがあったんですね。それで、私はたまたま翻訳ボランティアをやったからそこで関わったんですけども、大正区版に書いてあったんですね。でも、知らん人、たくさんあったんですね。ほんで、前回のときにどういう感じでみんなに知らせていこうかという話題になったときに、スマホとかそういうアプリのあれでやっついこう。もちろん若い人はそれでいけるけど、年寄りが多い大正区でどういう具合にそれを知っていくか。そして、大正区版も意外と読んでない、きらめきパーティーなんか知らなかったわっていう方、たくさんいらっしゃったんですね。そのパーティーだけでもそういうことやから、危険なことっていうのもっとみんなが知っていく形をどういふうにやっついこうかというのは大きな課題だと思うんですね。</p>	北方委員	<p>【村田区長】 情報を我々、きらめきパーティーだけじゃなしに、例えばものづくりの取組、これだけやっていますとか、福祉の取組、これだけやっています、地域で防災訓練、これだけやっていますということを広報紙なりホームページ、あちこち僕ら、考えられるありとあらゆることはさせてもいますけれども、大正区、人口5万9,000人いてるんですね。こどもたち、小さい子らもいてるんで5万9,000人に周知する必要があるかどうかはまた別なんですけれども、やはり我々も、はっきり言って限界がございます。ですので、地域の皆さん、先ほど言いましたような地域の防災、自主防災組織の皆さん、地域のまちづくり実行委員会の皆さん、女性会の皆さん、青指の皆さん、PTAの皆さん、一緒になってこういうことをやりますよというのを知っていただく取組、できたらなと思ってますし。こういう場所で知識としてもインプットされましたら、またお知り合いの方にこんなんだよというのを教えていただければありがたいかなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>我々もいろいろどうやったら伝えることができるか、伝えやすくなるか、伝わりやすくなるかというのは当然勉強してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>	ご意見を踏まえ、将来ビジョンに区役所の情報発信強化と区民や地域団体、企業等との広報連携について明記しました。	対角線	総務課 (庶務)